



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 228号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。 作成:高橋絹世 連絡先 048-462-9912

身近な自然を知り守り伝えよう 会員募集中

ホームページ

<http://wako-wakimizu.org/>



1. 紙芝居・絵本「ぼくのゆめは わき水になること」2023 年 10 月完成



1. 和光市の特徴的な自然環境として、市内各所に湧き水があり、街を潤しています。特に白子地区には、熊野神社を中心として、豊富な湧き水が湧き出す富澤湧水、大坂ふれあいの森があります。

その湧き水に親しんでもらおうと、紙芝居と絵本を作り出版いたしました。絵本は 100 冊です。紙芝居の完成は 4 部で、次年度も続けます。

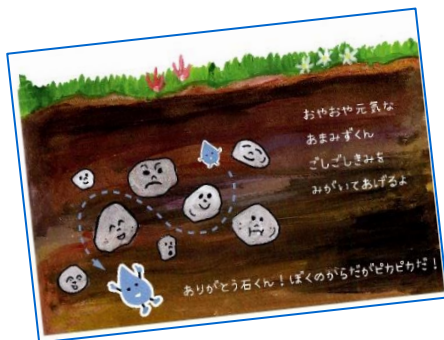
「ぼくのゆめは わき水になること」という題名の紙芝居・絵本です。 わき水はどこから来るのか、どこを通過して湧き出すのか、あまみず君の「ぼく」が大冒険する構成です。内容から、水の循環、地面の中、地層、などなど、多くのテーマが組み込まれ、そこに描かれた可愛い絵とともに、楽しめる絵本です。

この絵本は、幼児から小学生まで楽しめ、学校の教材にも使えるように工夫しています。

作成には、湧き水の会が調べた湧水の仕組みが書かれ、この仕組みについては、多くの専門家が武蔵野台地末端部の湧き水の仕組みについて、研究された結果です。

絵本として各図書館、幼稚園、小学校などへの紹介をしています。大人も子供と一緒に楽しみください。

絵本の出版には、サイサン環境保全基金、㈱会社リゾン等の助成を受けています。合同会社 OBN の皆さんの協力で楽しい物語がつけられました。



2. 白子小4年生 地域学習湧き水見学（紙芝居と絵本活用）11月10日（金）

白子小4年生の湧き水観察会の案内をしました。それに先立ち先生方との打ち合わせを行った際に、紙芝居「ぼくのゆめはわき水になること」を紹介したところ、事前学習に各クラスで活用したいとのことで、出来立ての紙芝居と絵本を4年生の先生方に差し上げました。

観察会は、白子の富沢湧水、大坂ふれあいの森、熊野神社3か所を一クラスずつローテーションで、それぞれの特徴を案内し、湧き水や生き物、特にサワガニを探し、直接触れ、自然観察を楽しみました。

- ・3クラス、合計約80名。
- ・学校出発 9:00、熊野神社着 9:10、熊野神社帰路出発 10:10、学校帰着 10:20
- ・案内・説明係： 大坂ふれあいの森（高橋勝緒）、富沢湧水（高橋絹世）、熊野神社（沖野）
1組（寺井）、2組（橋本）、3組（杉尾）



富沢湧水の水辺で生き物探し



大坂ふれあいの森の道沿いの小さな流れ

3. 絵本の配布、さらに湧き水観察や各地の活動に向けて！

小学校、図書館、公民館などへは、教育委員会学校教育課、生涯学習課を通して配布していただくことになりました。また、ゆめの木保育園の園長先生にお目にかかり、紙芝居と絵本を披露しました。絵本の読み聞かせ、その後の富沢湧水観察会の実現に向けて、活動を広げていく予定です。

今回の事業では、和光の湧き水の仕組みを解りやすい物語にし、絵本と紙芝居両方の作品として広げることが出来ます。看板作成に関しても新しいツールを会に取り入れるパートナーとして、今後も OBN と取り組んでいきたいと思ひます。

また、活動を広げる新たな取り組みとして、「インスタグラム」を橋本さんが積極的に作成しています。こちらは、各地の活動を多数の方々に発信し、共感してもらうツールです。利用拡大にご協力お願いします。

https://instagram.com/wako_midoritowakimizu?igshid=MzMyNGUyNmU2YQ==

4. 2023 年度 湧き水の会・白子大坂ふれあいの森の会合同のバス研修会

渋沢栄一記念館と紅葉の八丁湖



近代日本経済の父と呼ばれ歴史ロマンを感じられる渋沢栄一記念館を訪ねました。日本の近代産業、絹産業遺産についても情報が満載でした。渋沢栄一アンドロイドと渋沢栄一翁の生家「中の家」も見学。深谷の血洗島の周辺は、今も変わらず農業が中心のひっそりとしたまちで、その後の活躍と対照的でした。道の駅おかべは「げんき野菜王国」、深谷ネギのシーズンでした。その後紅葉の八丁湖に向かい湖巡り。埼玉から日本を学ぶ研修会でした。

5. 新倉ふれあいの森で、アウトドアプログラム（第3回緑のパートナー研修会）

新倉ふれあいの森では、初めてのアウトドア研修会が11月18日定期活動日に開かれました。公園みどり課主催緑のパートナー研修会として、新倉の竹を活用したイベントです。新倉から多くの仲間が参加して研修会が開かれました。

まずはロープの結び方の講習。竹とロープを利用してテント設置、3本の竹を一つに結んだアウトドア用としての優れもの。などなど。

テント貼りやロープ結びは、今後ふれあいの森でどのように活用していけるでしょうか。「新倉ふれあいの森植物園」構想も進んでいるときです。アウトドア体験と結びつけて、新倉ふれあいの森を皆さんが訪ねやすい植物園となるよう、工夫したいと思います。

ふれあいの森の活用をみどりのパートナーと一緒に広げ、「新倉ふれあいの森植物園」という構想に向かって進めていきましょう。

ロープワークの練習



6. 2024年1月～2024年5月の主な予定表 (2023年12月発行)

各保全区域の集合は9時半です。予定表には観察会やイベントも含めます

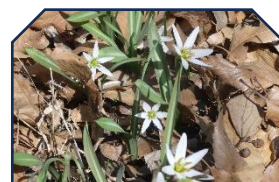
予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森
1月	下新倉小学校4年生の環境授業の予定	20日(第3土) 定期保全	13日(第2土) 富澤湧水フィールドワーク ヒロハアマネの区画の保全と観察 17日(第3水) 大坂ふれあいの森の斜面 上部の笹除去等
2月	サイサン基金報告及び申請	17日(第3土) 定期保全	10日(第2土) 富澤湧水フィールドワーク 21日(第3水) 大坂ふれあいの森保全活動
3月	湧き水年間活動まとめ	16日(第3土) 緑のパートナー 一研修会	9日(第2土) 富澤フィールドワークと ヒロハアマネ観察会 20日(第3水祝) 大坂ふれあいの森保全活動
4月	総会資料作成	20日(第3土) 恒例のタケノ コ掘り体験	13日(第2土) 富澤湧水フィールドワーク 中旬 大坂ふれあいの森での公園みどり課 の工事に関する説明会
5月	緑化イベント参加予定 6月1日総会予定	18日(第3土) 定期保全	11日 富澤湧水フィールドワーク 大坂ふれあいの森の活動は変更があります

経理担当の茂木紀男氏の健康上の理由により、2023年11月より杉尾氏が担当しています。

7. 花と生き物・季節の産物のカレンダー：

各地域の活動で観察できるので是非発見してみてください！

近年気温が高い日が多く季節が早く変わる傾向です！



ヒロハアマネ

1年中 サワガニ 富澤湧水、大坂ふれあいの森で見られます

3月初め ヒロハアマネ 富澤湧水フィールドワークで見られるかもしれません



3月末 カタクリ 例年大坂ふれあいの森で咲きます

例年 新倉ふれあいの森の入り口付近の斜面で見られます

早いときは中旬以降から開花

4月中旬 ヤマブキソウ 新倉ふれあいの森の中ほどの草地

キンラン 新倉ふれあいの森の中ほどの森の中

イチリンソウ 大坂ふれあいの森の斜面林の下部



ヤマブキソウ

4月中旬 タケノコ 新倉ふれあいの森でタケノコ掘りは恒例行事です

